



富良野市教育委員会教育振興課社会教育係

電話 0167-39-2318

文責：上用 眞一郎

今日は卒業式 今日修了式



いつのことだか 思い出してごらん

あんなことこんなこと あったでしょう

うれしかったこと おもしろかったこと

いつになっても 忘れない …

今日は卒業式・修了式です。出会いがあれば別れもあります。でも、70歳になった私には別れるのはもうけっこうと、心では思っているのです。

今日の日のために、学生の皆さんが「寄せ書き」を制作しました。この発案は大学院1年の宮西さんです。宮西さんは、時間をつくり、図書館3階の交流室で書道をしたり、子ども食堂での三角巾の帽子を縫ったり、考えたり…まるで夜なべをしているお母さんのように… そこで、

今迄のクラブ学習中心の卒業・修了記念作品展から一步進めて学生全員による「寄せ書き」制作をすることにしました。

各クラブの代表者とコンタクトをとりながら3月15日から今日まで文化会館ロビーに展示しています。とてもうれしい、華やかな展示となりました。

この一年間、そしてことぶき大学での思い出を一杯抱きしめて良い卒業式・良い修了式にしましょう！！ おめでとうございます！！

富良野市ことぶき大学
令和5年度
**卒業・修了記念
作品展**
3月15(金)～3月22日(金)



卒業・修了式：令和6年3月22日(金)10時～
会場：富良野文化会館「サンエーホール」
富良野市教育委員会

令和5年度 卒業生並びに修了生の皆さん

卒業生	研究生 修了生
<p>🌸 山部校本科4年 1名</p> <p style="padding-left: 40px;">小林 静子さん</p> <p style="text-align: center;">大学院 修了生</p> <p>🌸 富良野校大学院2年 7名</p> <p>荒生トヨ子さん 長屋由美子さん 上田 節子さん 原 あけみさん 桑山 美子さん 和八 茂子さん 紺谷 洋子さん</p> <p>🌸 山部校大学院2年 1名</p> <p>乙部 綾子さん</p>	<p>🌸 富良野校研究生 2名</p> <p>池田 學さん 伊藤 公雅さん</p> <p>🌸 山部校研究生 2名</p> <p>長部 薫さん 長澤 紀之さん</p> <p style="text-align: center;">単年度登録制研究生修了生</p> <p>🌸 富良野校 15名</p> <p>平澤 那子さん 坂本登志江さん 平澤 稔さん 四宮 時夫さん 藤林ヤス子さん 西濱 千汐さん 加瀬谷利江さん 今 靖直さん 萱原栄都子さん 高田江美子さん 竹田ゆみ子さん 西田マサ子さん 平間 早苗さん 芳賀 光代さん 伊賀 啓子さん</p>

令和5年度 皆勤賞・精勤賞受賞者の皆さん

皆勤賞受賞者	精勤賞受賞者
<p>富良野校 4名</p> <p>伊藤 公雅さん 平澤 那子さん 平澤 稔さん 加瀬谷利江さん</p> <p>山部校 5名</p> <p>野口ゆう子さん 東海林幸子さん 久保 恵子さん 濱口智慧子さん 刑部 顕さん</p>	<p>富良野校 16名</p> <p>北川 敦彦さん 荒生トヨ子さん 伊賀 啓子さん 岡本 恵子さん 長屋由美子さん 坂本登志江さん 金子 健さん 原 あけみさん 西濱 千汐さん 田賀美津子さん 藤林ヤス子さん 西田マサ子さん 近田 行雄さん 竹田ゆみ子さん 高瀬 優子さん 平間 早苗さん</p> <p>山部校 4名</p> <p>氣田 美鈴さん 千葉 律子さん 小林 静子さん 長澤 紀之さん</p>

クラブ学習最終日 ～永遠の“美”を求めて～

先日、ことぶき大学 OB の藤井さんにロビーでお会いしました。「ことぶき大学に再入学ってどうでしょう?」「奥さまとお二人で…」そんな話しをしました…

藤井さんは携帯は電話機能で充分、たまにメールをするくらいだそうです。そして折り畳みの携帯を見せてくれました。(妻と同じ!)

まもなく春を迎える清水山を散策、木々の蕾をデジカメで撮影し、絵手紙にして親しい方に郵送するのが楽しい…とても素敵ですね。急ぐことはない。時間をかけて自然を見つめ、創造する…春を待つ生き物たちと共存しているって感じです…

絵手紙や書道などの作品を観ていると今話題となっている(かも?)源氏物語の世界に入ったような気がします。私のイメージしていたものは大河ドラマでの紫式部ではなく、源氏物語という小説の世界そのものに興味がありました。

寄せ書きに萱原さんの平安時代の女性が描かれていた「君恋し」の絵手紙を観て、この女性は女三の宮か、桑山さんのクラブ作品では長～い髪の女性、もしかして浮舟かも知れない…そんなことを想像したり…

流れるような和歌を見て、なんて美しい字をかくのだろうか、よく漢字からひらがなが生まれたものだと話しことばをそのまま文字に表せなかったそれまでの時代はどんな会話をしていたのだろうか、真剣に思ったりしている。

お茶にしても、切り絵にしても、陶芸にしてもその歴史は古く、世界も広く深いものです。

クラブ学習を通じて私たちは何を学ぶのだろうか。

私は「美の追求」にあると思っています。そもそも「美」とは何か、加えてその美は「普遍的な美」でなくてはならない。どんな思想やあらゆる価値観にも左右されないような美とは何だろうか。

書道、お茶、陶芸、絵手紙、切り絵の世界に共通するものは、永遠なる美への追及なのである。

そしてすべてが「美」に収束するということだろう。大橋先生、岡田先生、杉本先生・蒲生先生・高橋先生、小川先生、松浦先生に感謝しています。





令和6年度入学式



令和6年4月10日（水曜日）10時 ～

文化会館「サンエーホール」 9時20分集合

卒業式が終了すると入学式です。新しい令和6年度がスタートします。

新しい年も、毎日ワクワク、ドキドキするメニューを用意しますので、楽しみにお待ちください。

また、皆さんと一緒に、楽しく学び合いましょう。

久しぶりに春を探しに、お弁当を持って遠足はどうでしょうか！



ティータイムコーナー！

「吾が思い出の記」を編集中です。皆さんからいただいた原稿を一文字一文字パソコンの画面に打ち込んでいくことはとても大変なように思いますが、実は大変楽しい作業になります。それは皆さん一人一人の世界に私も入っていただけることにあります。もう一人の主人公が存在しているという感じです。

一文字一文字間違えない様にタイピングするのですが…最近ですが…

気になることがあります。それは、句読点をどうするかということです。「。は句点」「、読点」ですが、最近若者はこの句読点を嫌うということを聞いたことがあります。その理由は「会話でなくなる」「型ぐるしい」と嫌っているようです…私自身も時に使わないことがあります。

句点をつけると必ずどこかで文が終るということへのこだわりです。だから、あたかも「詩」のような「俳句」、「短歌」のような感覚というのか、句点をつけなくて余韻を残す、あなたはどう思いますかという相手に考えるための間、余韻…まだまだ続くのですという感覚で文章を書くことがあります。

だから、皆さんの原稿をみると、どんな気持ちでこの文を書いているのだろうか、この句点や読点にはどんな意味があるのだろうかと思ったり、漢字かひらがなか、カタカナか、ローマ字か英語か、絵文字か…ということになると、書いていることは同じに見えても、意味合いが違って来るように思えてしまう。だから、タイピングしていて自然に変換された文章を、あらためて見直し、皆さんの原本に忠実に戻すことも多いです。

「吾が**思**い出の記」か「吾が**想**い出の記」なのか、「おもい」の違いについても、最近「思い出」の方を使うようにしています。思いは頭で考えたことであり、想いは心で考えたことであると言われていました。想いの方がなんとなくフワッとするようなイメージでやわらかい感じがするような気がしています…

令和6年度もビシッと決めて、皆さんに楽しんでもらえるようなティータイムコーナーにしていきたいと思います。令和5年度の皆さんと新しい出会いに、お茶で乾杯！！